

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: <http://www.konbukuroike.com>

2020年5月

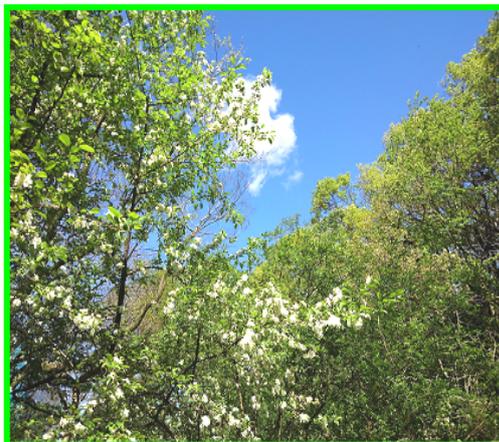
第73号

森と泉&生きものたち (20) ～春過ぎて夏来にけらし白妙の～

森田 勝

白妙のように

「春過ぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山」は、持統天皇の万葉御製歌で百人一首にも取められています。青い空と緑の山の色のコントラストの中に白が印象的に詠われていますが、この情景とこんぶくろ池の湿地林に競って咲く白いズミの花が重なります。今年も湿地林内にズミの花が咲き誇っています。



北部湿地林内流れ沿いのズミ (2020/4/19)

写真：駒嶺 重房

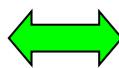
日の目を見る

このような中、逐年、着花が不調で樹勢の衰えを心配していたズミが、今年は、樹冠から全体にわたり花をつけ、天高く伸びて木の勢いを感じる状態になりました。これは、樹林内のスギやコナラ等が、台風や強い風雨で倒伏したり、会員皆さんによる周りのスギ、コナラやネズミモチ等常緑樹の伐採・切除作業により、日の光が射して光環境が改善されたことやこれまで踏み歩いていたズミの根元を保護するため木道を整備したこと等による成果ではないかと思えます。

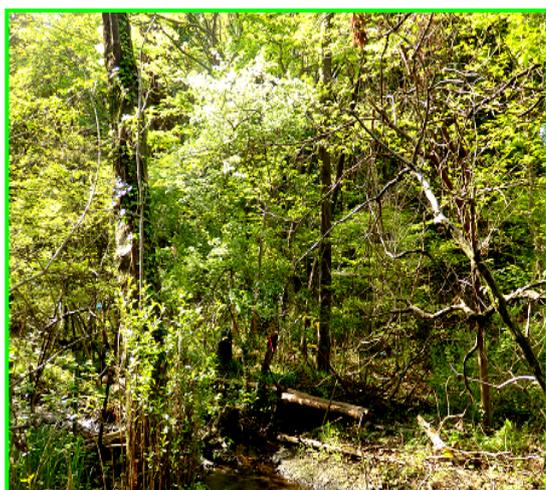
更に、今年は降雨量が多く、弁天流れは涸れることも無く、また一号調整池～弁天池の谷筋に水が滞留することも度々あり、水環境も比較的良好であったこともあると思えます。



掩体壕西側のズミ (2020/4/24)



樹冠の花の状況



こんぶくろ流れと弁天流れの合流点のズミ
(2020/4/23)
写真：駒嶺 重房



木道作業中 (2020/1/19)



樹冠の花の状況



木道完成

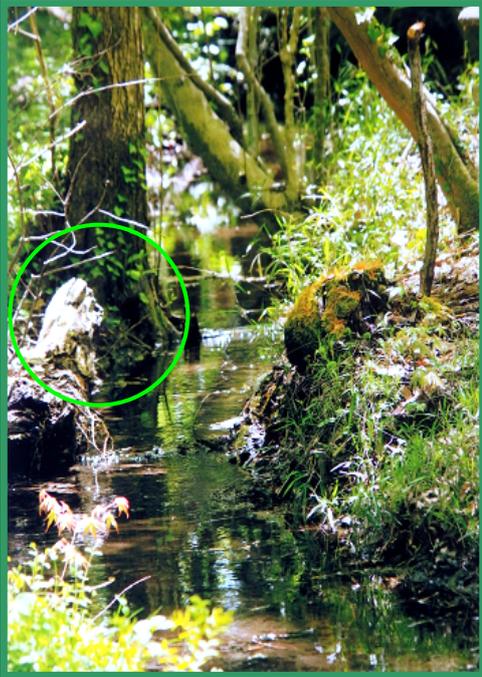
神秘性と象徴性

公園の2つの池とこれからの流れ沿いの湿生環境は、公園の核心的エリアであり、ズミ、サワシロギク、ヌマガヤ、ツリフネソウ等の貴重な植物種によって形成され、ここでは、絶滅危惧種のニホンメダカ、水辺の宝石カワセミそして天空の王者オオタカ達が命を繋いでいます。

市の計画では、この地域を「神秘性、象徴性ある場所として整備・管理を行なう」との考えが挙げられています。

「神秘性」について

神秘性を醸し出す要素に、珍しい機構による2つの湧水池の存在や、氷河期に生育していた植物が現在まで生き延びている人智を超えた不思議さと、貴重な動植物が命を繋いでいる深い森、その厳かな雰囲気等が挙げられます。これ等を更に高めることはなかなか難しいテーマですが、湿生環境の保全を第一義として少しずつ前へ進めて行くことが必要と思います。これまでの神秘性を想わせる事象を紹介致します。



森の幽かなせせらぎ (2020/4/19) 写真：駒嶺 重房

公園の奥深い森と流れを駒嶺会員が神秘的にとらえた写真です。そこには岸边に射した一瞬の光が創った造形、ホワイトライオンが凜然と構えています。森の守護神、ホワイトライオンのフィギュアです。一説では、ホワイトライオンも氷河期の遺伝子を受け継いでいるそうです。



湧水点 (2016/1/3)

2016年の「みおさらい」作業で池水位を下げ、池底が見え始めると数か所からきれいな水が湧き出ているのを確認、感激しました。正に清水が湧く泉です!!



(2020/4/10)

静まり返った弁天池に突然、一羽のシジュウカラが舞い降りてきて水浴びを始め、それと同時に池中に水紋が広がり、えも言われぬ静寂に包まれました。
「古池や蛙飛び込む水の音」

「象徴性」(公園の象徴種) について

こんぶくろ池自然博物公園の湿生環境で生息・生育する動植物のうち、象徴種と考えられる種を数例紹介します。いずれも生態学的に価値が有り、人々の関心が高く、スター的で、公園のシンボルとなる種です。

今後、公園の象徴性をより高めるために、これ等の貴重・希少な種の保全をNPOあげてしっかり進めることが、重要です。



サワシロギク(A) (2018/9/19)



寒冷期の生き残り、開花したズミ(B)
(2020/4/11)



絵：矢野 紘子
准絶滅危惧種・アンブレラ種
天空の王者オオタカ



ツリフネソウ (2019/9/20)



絵：宮尾 知子
こんぶくろ池、弁天池の水の女神です。
宮尾会員が、森に囲まれ、泉湧く2つの池からイメージアップして描いていただきました。
ファンタスティックな女神です。インド伝来の弁天様は、水の神であったそうです。



寒冷期の生き残り、ヌマガヤ(B)
(2018/9/19)



絶滅危惧種
ニホンメダカ (2020/5/5)



水辺の宝石、カワセミ (2020/4/7)

新入会員紹介

もがき
茂垣 和正さん



近隣に居住して12年、こんぶくろ池周辺は散策を楽しみ親しんだ地域でした。身近にある貴重な自然を守っていきたくと思いますので、皆さんと共に活動していきたくと思います。

趣味・好きなこと：畑仕事、ウォーキング、ゴルフ
貢献できそうなこと：造園・園芸、調査

特定非営利活動法人 こんぶくろ池自然の森 第11回通常総会 議事録

1. 開催日時：2020年4月25日 9:00～9:30
2. 開催場所：こんぶくろ池自然博物公園管理棟前
3. 出席者数：53名（議決権行使書及び委任状45名含む）
4. 審議事項

- (1) 第1号議案 2019年度活動報告 承認の件
- (2) 第2号議案 2019年度事業収支決算報告 承認の件
- (3) 第3号議案 2019年度監査報告 承認の件
- (4) 第4号議案 2020年度事業活動計画（案） 承認の件
- (5) 第5号議案 2020年度収支予算（案） 承認の件
- (6) 第6号議案 2020年度役員（案） 承認の件
- (7) 議事録署名人の承認及び2020年度会員名簿確認

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森の総会において、上記の通りの者が出席した。

会長 岡本昇は、本日の総会は正会員総数（59名）の過半数以上の出席があったので有効に成立した旨を告げ、開会を宣言した。

議長を選出すべく、全員で互選したところ、岡本昇氏が選ばれ、本人はこれを承諾し、議長席につき午前9時5分に、特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森の総会の開会を宣言し、議事に入った。

(1) 第1号議案

議長より、2019年度活動報告書を示し、北田理事および藤原理事が報告した上で、その承認を求めたところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

(2) 第2号議案

議長より、2019年度事業収支決算報告書を示し、岡本理事が報告した上で、その承認を求めたところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

(3) 第3号議案

議長が、松清監事押捺の2019年度監査報告書（写）を配布し、岡本理事が2019年度監査報告書を読み上げ、全員異議なく、これを承認した。

(4) 第4号議案

議長より、2020年度事業活動計画の（案）を示し、萩原理事および上田理事が説明した上で、その承認を求めたところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

(5) 第5号議案

議長より、2020年度収支予算の（案）を示し、岡本理事が説明した上で、その承認を求めたところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

(6) 第6号議案

議長より、2020年度役員（案）を示し、岡本理事が報告した上で、その承認を求めたところ、理事は岡本昇氏、松本重誠氏、萩原秀夫氏、上田真佐江氏、北田賢治氏、中川望氏、藤原俊和氏の留任とし、監事は松清智洋氏の留任とすることを、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

(7) その他

議長より、議事録署名人について本日出席の宗像清子氏、橋本谷弘司氏の2名を指名したところ、全員異議なくこれを承認した。また、2020年4月1日現在の会員（59名）名簿の確認をした。

議長は、以上をもって、特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森の総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。（9時30分）



NPO 法人 こんぶくろ池自然の森 10周年記念寄稿 ②

柏市都市部 理事 酒井 勉 様

特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森設立 10 周年を心からお喜び申し上げます。

日頃から、こんぶくろ池の美しい風景の維持にご尽力されている皆様に改めて敬意を表しますとともに、皆様の活動が今後、より一層充実されますことを期待いたします。

特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森の更なるご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

令和 2 年 4 月吉日

4 月理事会

日時：2020 年 4 月 25 日（土） 9:40～12:00

出席理事：岡本、上田、北田、中川、藤原、萩原

1. 審議検討・確認事項

(1) 柏市への令和 2 年度業務委託契約内容について

先に締結された柏市との当公園に係る維持管理業務につき仕様書に基づいて委託内容を確認した。今年度から新規に臨時業務として、いわゆるコリドーエリアの周辺道路部分（奥行 1 メートル）の除草業務が追加されたことも含め、委託業務範囲と委託料につき意見交換を行った。

(2) 新型コロナ緊急事態宣言終了後の定例活動及び契約当番運営の再開について

緊急事態宣言の期間が 5/6 となっているため、5/9 以降の契約当番および定例活動の再開方について協議を行った。再開時期については、半年後位を目途に考えるべきとの意見もあったが、現在、柏市から指示を受けている「園内ガイド中止」を根拠に契約当番、定例活動の再開を判断することに決定した。柏市にも伝える。5/6 に宣言が解除されるなどして、柏市が園内ガイド再開の判断をした場合でも契約当番については、直ちに通常の当番表に基づく会員の輪番制に戻さずに、5 月いっぱいには理事や有志が当番を担当することに決定した。仮に、再開が 6 月以降になった場合でもこの方法を適用する。

定例活動の再開については、会員にその旨を通知する際に決して無理して参加することのないように配慮することを申し合わせ

た。その他、契約当番が長期間実施されないことにより委託料の返還を求められても致し方ないとの発言があった。また、隣接する柏の葉公園で駐車場や遊具の使用禁止が実施されたことに伴い、当園の対応について柏市に連絡をすることに決まった。

(3) NPO 設立 10 周年にあたり

10 周年記念事業として、シンポジウムの開催を 1 年先送りで実施との意見や、設立当初からの会員に原稿依頼して記念誌的なものを作成との意見があり協議した。その結果、こんぶくろ池通信に「設立 10 周年にあたり」コーナーを設けて、開設当初からの会員に依頼した原稿を掲載することに決定した。

(4) 3 月の契約当番手当の受け渡しについて

3 月分と 4 月分の管理当番手当の支給日については、5 月 17 日の合同活動日とすることを承認した。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長幅」に対する対応について

会長 岡本 昇

先月 7 日に政府より「緊急事態宣言」が発せられたことに伴い、当 NPO は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、5 月 6 日まで例会等活動の休止、管理棟の閉鎖及び管理当番の中止を行ってまいりました。

ご承知の通り今月 4 日に政府は、5 月 31 日まで同宣言期間を延長すると発表しました。当 NPO も政府方針を踏まえ、前号通信にてお知らせしておりますが、同内容を継続延長し、実施してまいることといたします。

一方、当自然博物公園及び駐車場（10 台分）については、住民の精神的、身体的な効果等も期待されていることから、住民への感染防止策を講じつつ、従来通り開放してまいります。

新型コロナウイルスで「未曾有の危機」に直面している中、NPO はこの危機に怯むことなく、できる範囲でこの長丁場に対応してまいります。

どうか、皆様のご理解ご協力が大切ですので、何卒ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。なお、政府は今後、専門家の意見・評価を踏まえ今月 14 日をめどに、段階的に一部地域の解除などを視野に入れているため、これらの動向を見定めながら対応してまいります。

以上